

# 資料1



## 平成31年度（2019年度） 千葉市下水道事業会計当初予算



平成31年3月26日（火）  
平成30年度第2回千葉市下水道事業経営委員会



# 目次

## 1 予算の概要

- (1) 予算の基本的な考え方 P.2
- (2) 業務の予定量 P.4

## 2 平成31年度予算

- (1) 収益的収入・支出 P.6
- (2) 前年度予算との比較【収益的収入・支出】 P.7
- (3) 資本的収入・支出 P.8
- (4) 前年度予算との比較【資本的収入・支出】 P.9

## 3 予定財務状況

- (1) 経営状況 P.10
- (2) 予定損益計算書 P.12
- (3) 予定貸借対照表（バランスシート） P.13
- (4) 予定キャッシュ・フロー（C F）計算書 P.14

## 4 平成31年度予算における重点事務事業

- (1) 重点事務事業の予算 P.15
- (2) 主要事業の予算 P.16



単位未満を四捨五入で表示しているので、合計が一致しない場合があります。

# 1 予算の概要 (1) 予算の基本的な考え方

## 【基本的な考え方】

平成31年度は、前年度に引き続き、安全・安心のまちづくりに向け、雨水管渠の整備や下水道施設の耐震化を進めるとともに、快適な暮らしの基盤づくりに向けて、污水管渠の整備を進め、未普及地域の解消に努めます。

さらに、ストックマネジメントの考えに基づく管渠、処理場及びポンプ場の点検・補修を行い、必要に応じて改築を進めます。また、海域の水質保全のため高度処理施設の整備のほか、発生汚泥のエネルギーの利活用の検討を行います。

経営については、両浄化センターにおいて、引き続き包括的民間委託による維持管理を行うなど、経費の節減と管理の効率化を図り、経営の健全化に努めます。

## 【主な事業】

### (1) 上下水道料金徴収事務 8億476万円

下水道使用料の徴収事務について千葉県水道局に委託するとともに、千葉県水道局が開発した徴収システムについて、本市分を負担します。

### (2) 下水道施設の点検・補修 2億6,500万円

下水道の機能を適正に維持するため、施設の点検・補修などを行います。

**(3) 淨化センター等包括的維持管理 28億2,463万円**

浄化センター等の維持管理業務について、包括的民間委託を行います。

**(4) 浸水被害の軽減と対策の強化 19億5,950万円 (H30補正3億9,100万円含む)**

局地的な大雨による浸水被害を軽減するため、雨水管渠の整備を進めるほか、市民による防水板の設置費用の一部を引き続き助成します。

**(5) 地震時における下水道機能の確保 22億8,080万円 (H30補正20億7,680万円含む)**

地震発生時に下水道の機能を確保するため、管渠及び処理場の耐震化を進めます。

**(6) ストックマネジメントの推進 27億8,200万円 (H30補正5億5,300万円含む)**

下水道の適正な機能を維持するため、施設の改築を進めます。

**(7) 海辺の水質保全 28億8,100万円**

東京湾の水質保全と良好な水環境を整えるため、高度処理施設の整備を進めます。

**(8) 下水道未普及地域の解消 5億4,299万円**

快適な市民生活に寄与するため、汚水管渠の整備を進めます。

**(9) 下水道における資源・エネルギー循環の形成 2,780万円**

下水処理過程から発生する汚泥などをエネルギーとして利活用するための検討を行います。

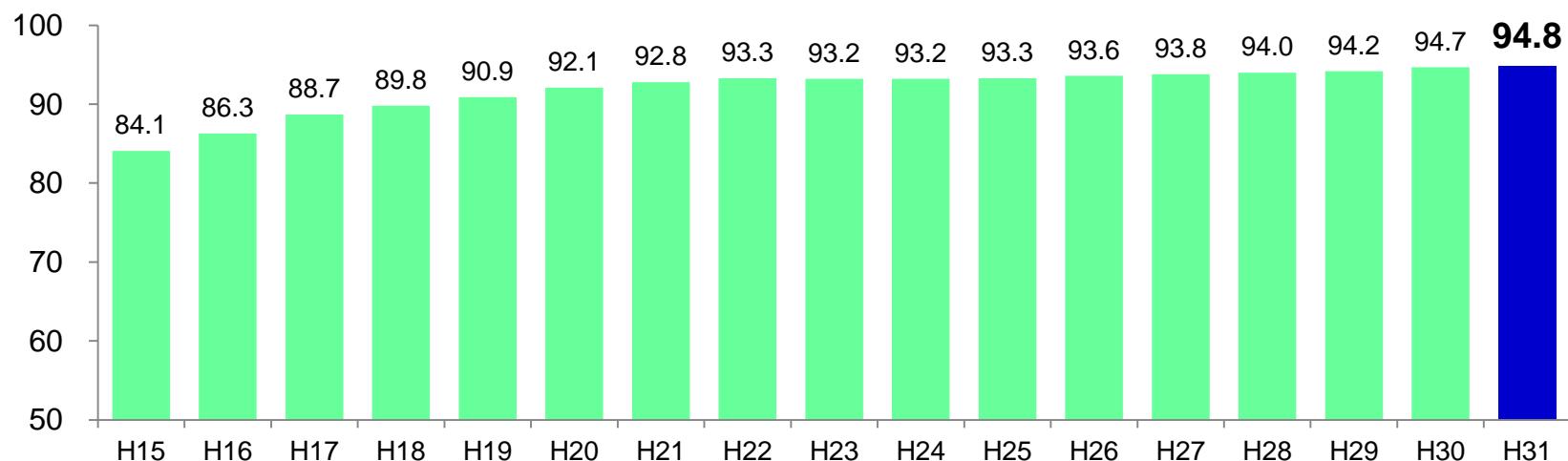
# 1 予算の概要 (2) 業務の予定量

平成31年度は、行政区域内人口973,134人に対し、整備区域内人口は947,589人で、汚水処理世帯数445,143世帯、年間総処理水量1億2,335万4,501m<sup>3</sup>（1日平均処理水量33万7,034m<sup>3</sup>）を予定しています。

また、事業計画面積は13,121haで、このうち整備面積は12,293ha 整備率は93.7%を予定しています。

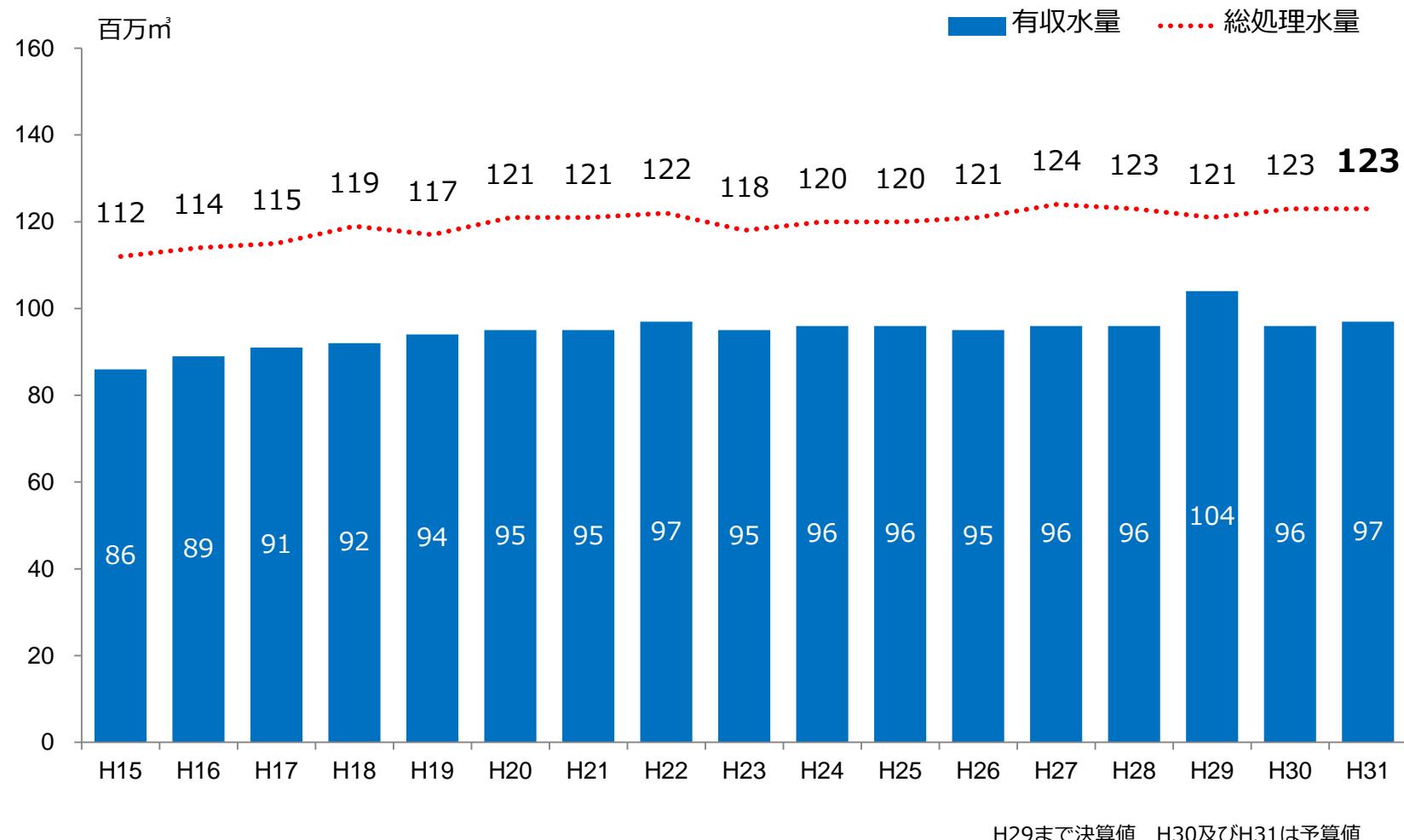
整備区域内人口

万人



H29まで決算値 H30及びH31は予算値

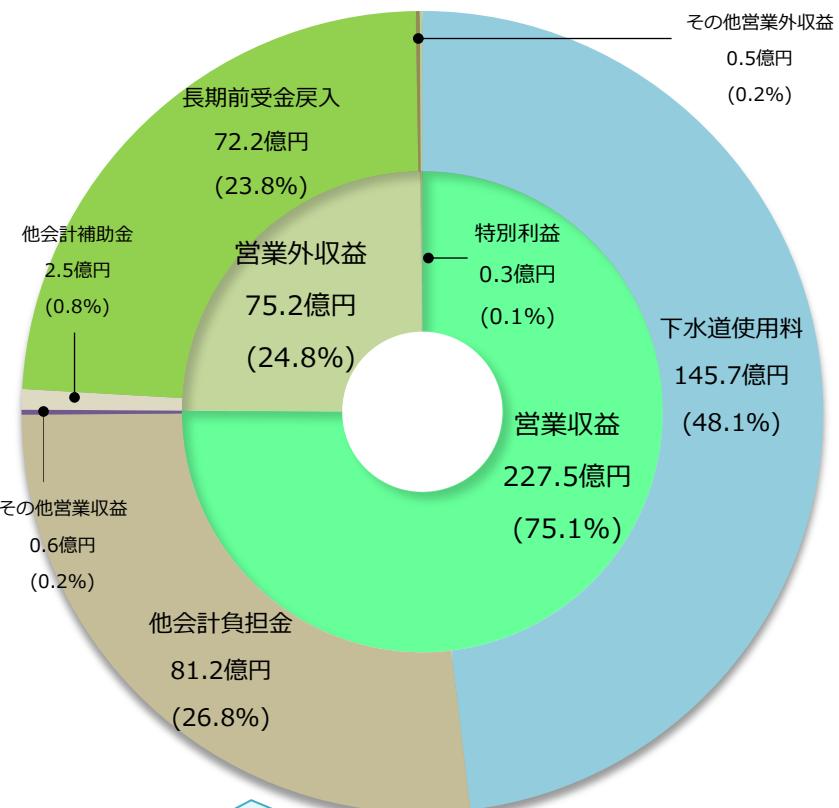
## 1 年度あたり総処理水量・有収水量



## 2 平成31年度予算 (1) 収益的収入・支出

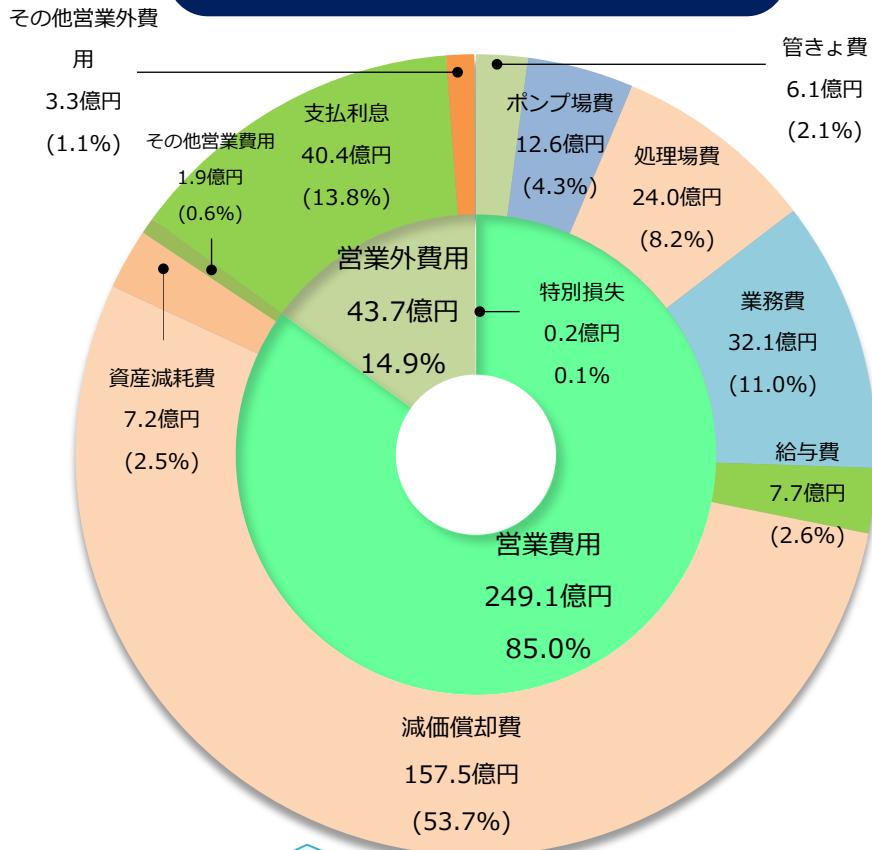
金額は税込み

収益的収入 303.0億円



収益的収入は、下水道使用料などの営業収益227億5,228万円、他会計補助金などの営業外収益75億2,103万円、特別利益が2,524万円、合計302億9,855万円となっています。

収益的支出 293.0億円



収益的支出は、管渠費、ポンプ場費、処理場費などの営業費用249億1,282万円、支払利息などの営業外費用が43億7,141万円、そのほか特別損失などを加え、合計293億477万円となっています。

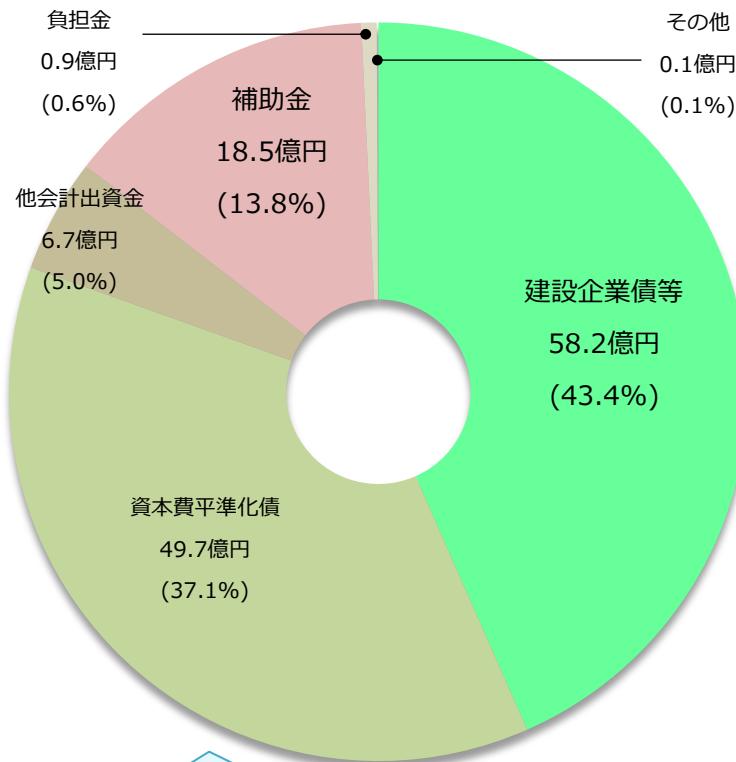
## 2 平成31年度予算 (2) 前年度予算との比較【収益的収入・支出】

(単位：百万円・税込)	H30予算額	H31予算額	増減額	増減率	主な増減要因
<b>1 収益的収入（下水道事業収益）</b>	<b>30,361</b>	<b>30,299</b>	<b>▲62</b>	<b>▲0.2%</b>	
（1） 営業収益	22,581	22,753	+172	+0.8%	
①下水道使用料	14,374	14,573	+199	+1.4%	消費税率の改定に伴う仮受消費税の増
②他会計負担金	8,148	8,121	▲27	▲0.3%	
③その他	59	59	0	0.0%	
（2） 営業外収益	7,759	7,521	▲238	▲3.1%	退職手当の支給に係る一般会計からの繰入の増
①他会計補助金	214	252	+38	+17.8%	
②長期前受金戻入	7,495	7,222	▲273	▲3.6%	
③その他	50	47	▲3	▲6.0%	補助金等を取得財源とした資産の除却の減及び減価償却が終了した資産の増による収益化の減
（3） 特別利益	21	25	+4	+19.0%	
<b>2 収益的支出（下水道事業費用）</b>	<b>28,960</b>	<b>29,305</b>	<b>+345</b>	<b>+1.2%</b>	
（1） 営業費用	24,579	24,913	+334	+1.4%	
①維持管理費	8,338	8,444	+106	+1.3%	
②減価償却費	15,743	15,747	+4	+0.03%	
③資産減耗費	498	722	+224	+45.0%	耐震化事業に伴う管渠の除却や事務所建物の撤去費用による増
（2） 営業外費用	4,360	4,371	+11	+0.3%	
①支払利息	4,314	4,041	▲273	▲6.3%	高利率の企業債利息の減、発行額の減
②その他	46	330	+284	+617.4%	
（3） 特別損失	11	11	0	0.0%	
（4） 予備費	10	10	0	0.0%	消費税率の改定に伴う消費税納税額の増

## 2 平成31年度予算 (3) 資本的収入・支出

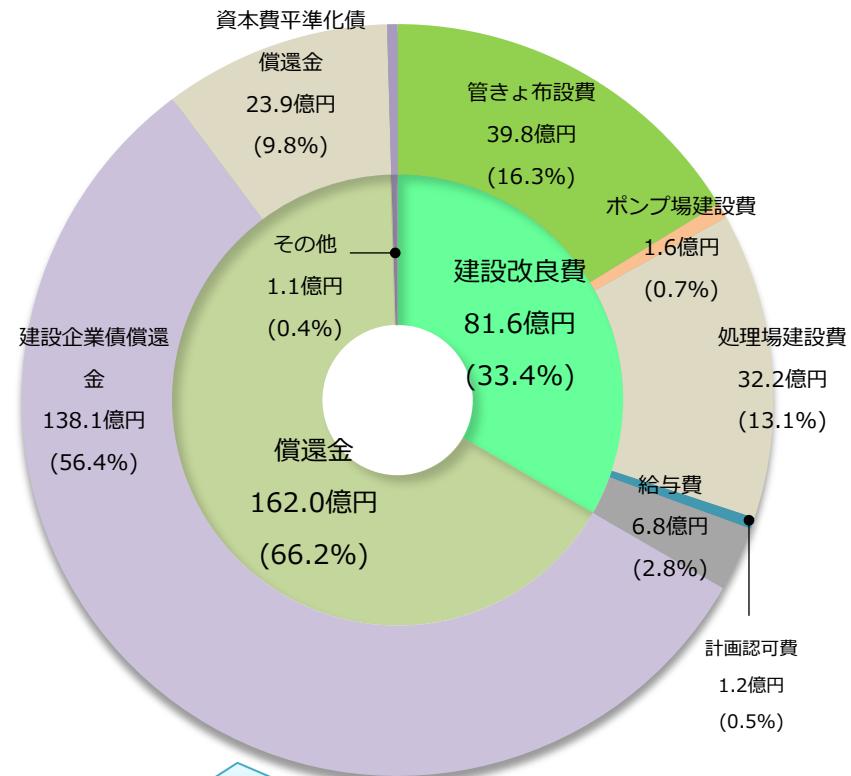
金額は税込み

### 資本的収入 134.1億円



建設企業債（流域下水道負担金債含む）及び資本費平準化債107億9,700万円、国等からの補助金18億4,462万円、そのほか水洗便所普及事業収入などを加え、合計134億878万円となっています。なお、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額110億6,511万円は、消費税及び地方消費税資本的収支調整額及び損益勘定留保資金等で補てんします。

### 資本的支出 244.7億円



建設改良費81億6,184万円、企業債償還金などの償還金162億513万円、そのほか施設利用負担金などの固定資産購入費や水洗便所普及事業費などを加え、合計244億7,389万円となっています。

## 2 平成31年度予算 (4) 前年度予算との比較【資本的収入・支出】

(単位：百万円・税込)	H30予算額①	H30補正額②	H31予算額③	②+③=④	増減額④-①	増減率
<b>1 資本的収入</b>	<b>17,240</b>	<b>3,017</b>	<b>13,409</b>	<b>16,426</b>	<b>▲814</b>	<b>▲4.7%</b>
(1) 企業債	13,683	1,807	10,797	12,604	▲1,079	▲7.9%
①建設企業債	7,984	1,807	5,787	7,594	▲390	▲4.9%
②流域下水道負担金債	33	—	37	37	+4	+12.1%
③資本費平準化債	5,666	—	4,973	4,973	▲693	▲12.2%
(2) 他会計出資金	599	—	670	670	+71	+11.9%
(3) 補助金	2,849	1,210	1,845	3,055	+206	+7.2%
(4) 負担金	97	—	87	87	▲10	▲10.3%
(5) その他	12	—	10	10	▲2	▲16.7%
<b>2 資本的支出</b>	<b>27,796</b>	<b>3,021</b>	<b>24,474</b>	<b>27,495</b>	<b>▲301</b>	<b>▲1.1%</b>
(1) 建設改良費	11,332	3,021	8,162	11,183	▲149	▲1.3%
①管きよ布設費	6,580	2,198	3,976	6,174	▲406	▲6.2%
②ポンプ場建設費	723	518	163	681	▲42	▲5.8%
③処理場建設費	3,222	305	3,216	3,521	+299	+9.3%
④計画認可費	107	—	121	121	+14	+13.1%
⑤給与費	700	—	686	686	▲14	▲2.0%
(2) 固定資産購入費	70	—	91	91	+21	+30.0%
(3) 償還金	16,377	—	16,205	16,205	▲172	▲1.1%
①建設企業債償還金	14,303	—	13,808	13,808	▲495	▲3.5%
②資本費平準化債償還金	2,074	—	2,397	2,397	+323	+15.6%
(4) その他	17	—	16	16	▲1	▲5.9%

※資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、補てん財源を使用

補てん財源：現金支出のない費用や減債積立金等による内部留保資金

### 3 予定財務状況 (1) 経営状況

平成31年度の経営状況等の見通し

( )は前年度予算との増減

金額は税抜き

◆下水道使用料 **133.7億円** (0.6億円増)

有収水量 **97,166,583m<sup>3</sup>** (1,058,295m<sup>3</sup>増)

◆当年度純利益 **6.3億円** (2.2億円減)

減債積立金（企業債の償還財源）に積み立てます。

◆汚水処理費 **127.4億円** (2.8億円増)

汚水処理にかかった費用で、汚水処理に係る施設の維持管理費や減価償却費等の資本費です。

◆経費回収率 **104.9%** (1.9ポイント低下) ※高いほど良い

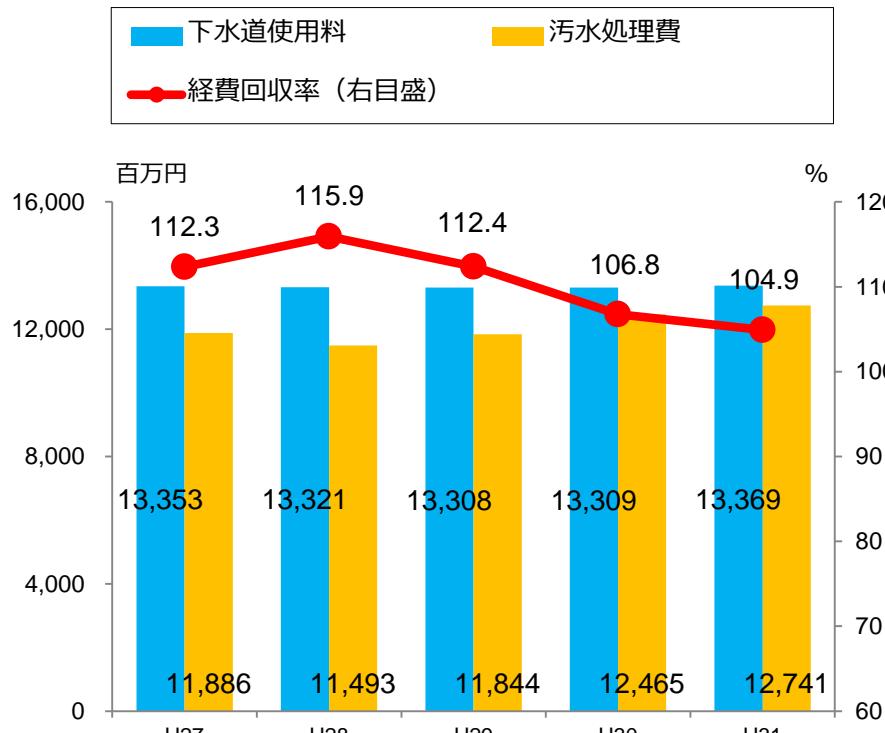
汚水処理費を下水道使用料でどの程度賄えているかを示した指標で、100%以上であれば下水道使用料で賄えていると言えます。

◆経常収支比率 **102.2%** (0.8ポイント低下) ※高いほど良い

維持管理費など毎年支出する経常的な費用を、下水道使用料など毎年収入する経常的な収益での程度賄えているかを示した指標で、100%以上であれば単年度収支は黒字となります。

H29まで決算値 H30及びH31は予算値

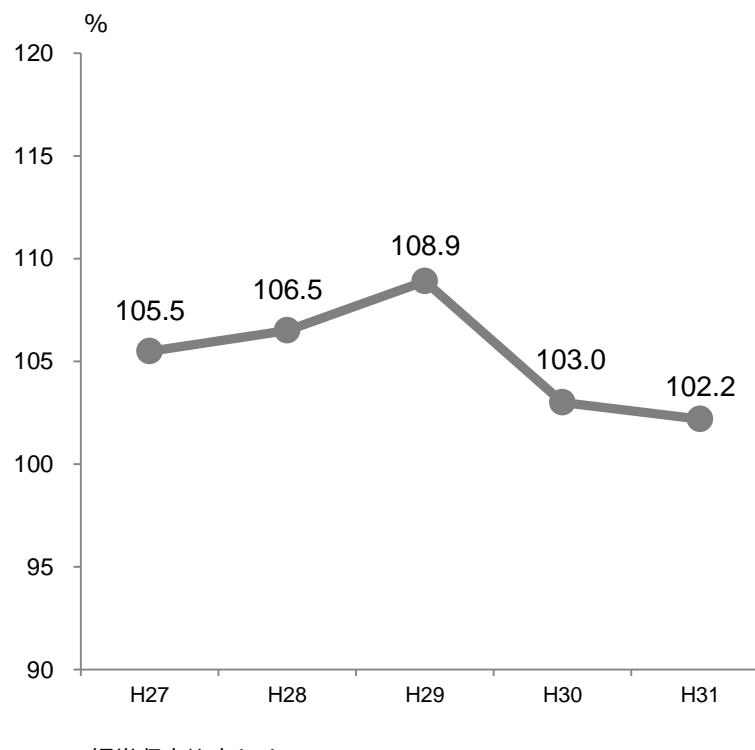
### 下水道使用料・汚水処理費・経費回収率



$$\text{経費回収率(%)} = \text{下水道使用料} \div \text{汚水処理費} \times 100$$

(注)H29の下水道使用料は上下水道料金徴収一元化の関係で13か月分の調定のため、12か月分に換算

### 経常収支比率



$$\text{経常収支比率(%)}$$

$$= (\text{営業収益} + \text{営業外収益}) \div (\text{営業費用} + \text{営業外費用}) \times 100$$

### 3 予定財務状況 (2) 予定損益計算書

(単位：百万円・税抜)	H30年度	H31年度	増減額	増減率
1. 営業収益	21,512	21,544	+32	+0.1%
2. 営業費用	24,033	24,306	+273	+1.1%
<b>営業利益</b>	<b>▲ 2,521</b>	<b>▲ 2,762</b>	<b>▲241</b>	<b>(▲)9.6%</b>
3. 営業外収益	7,762	7,523	▲239	▲3.1%
4. 営業外費用	4,396	4,137	▲259	▲5.9%
<b>経常利益</b>	<b>845</b>	<b>624</b>	<b>▲221</b>	<b>▲26.2%</b>
5. 特別利益	21	25	+4	+19.0%
6. 特別損失	21	21	0	0.0%
<b>当年度純利益</b>	<b>845</b>	<b>628</b>	<b>▲217</b>	<b>▲25.7%</b>
営業収支比率	89.5%	88.6%	▲0.9ポイント	
経常収支比率	103.0%	102.2%	▲0.8ポイント	

営業収支比率 (%) = 営業収益 ÷ 営業費用 × 100

経常収支比率 (%) = (営業収益 + 営業外収益) ÷ (営業費用 + 営業外費用) × 100

※特別損失は予備費10百万円を含む。

### 3 予定財務状況 (3) 予定貸借対照表（バランスシート）

(単位：百万円)

	H30年度	H31年度	増減額
<b>資産</b>	<b>468,173</b>	<b>465,044</b>	<b>▲3,129</b>
1. 固定資産	460,308	458,673	▲1,635
2. 流動資産	7,865	6,371	▲1,494
<b>負債</b>	<b>416,409</b>	<b>410,992</b>	<b>▲5,417</b>
3. 固定負債	221,739	216,625	▲5,114
4. 流動負債	21,742	21,573	▲169
5. 繰延収益	172,928	172,794	▲134
<b>資本</b>	<b>51,764</b>	<b>54,052</b>	<b>+2,288</b>
6. 資本金	28,404	31,612	+3,208
7. 剰余金	23,360	22,440	▲920
<b>自己資本構成比率</b>	<b>48.0%</b>	<b>48.8%</b>	<b>+ 0.8ポイント</b>

自己資本構成比率(%)= (資本金+剰余金+繰延収益) ÷ 負債資本合計×100

### 3 予定財務状況 (4) 予定キャッシュ・フロー(CF) 計算書

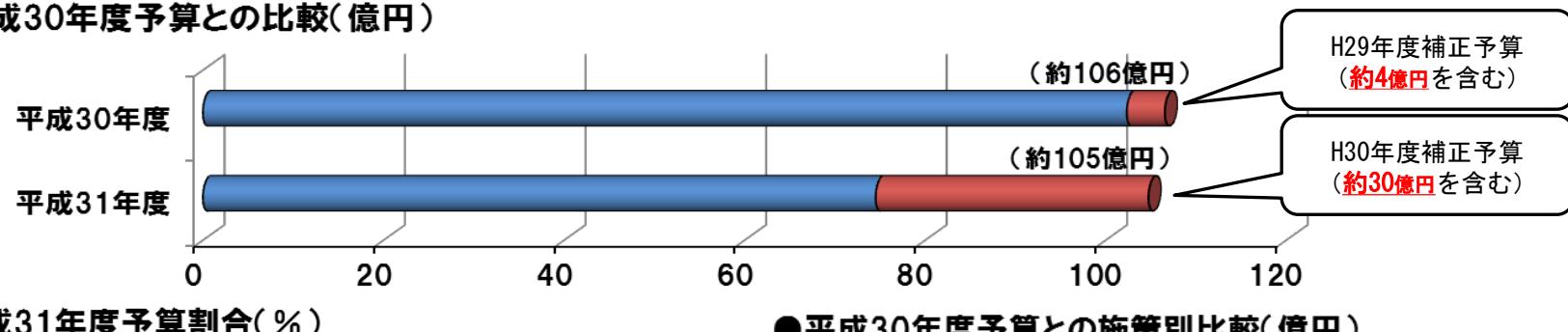
(単位：百万円)	H30年度	H31年度	増減額
1. 業務活動によるCF	9,751	9,886	+135
2. 投資活動によるCF	▲8,526	▲10,000	▲1,474
3. 財務活動によるCF	▲843	▲1,186	▲343
資金増減額	382	▲1,300	▲918
資金期首残高	5,503	5,426	▲77
<b>資金期末残高</b>	<b>5,885</b>	<b>4,126</b>	<b>▲1,759</b>

## 4 平成31年度予算における重点事務事業 (1) 重点事務事業の予算

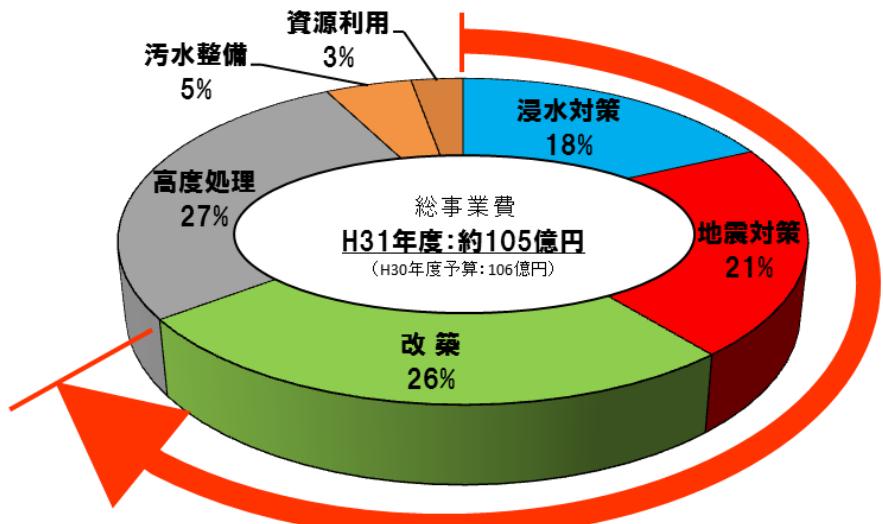
### 防災・減災事業を重点化！～安全・安心のまちづくりに向けて～

#### ◆平成31年度の建設改良関係予算と平成30年度予算との比較

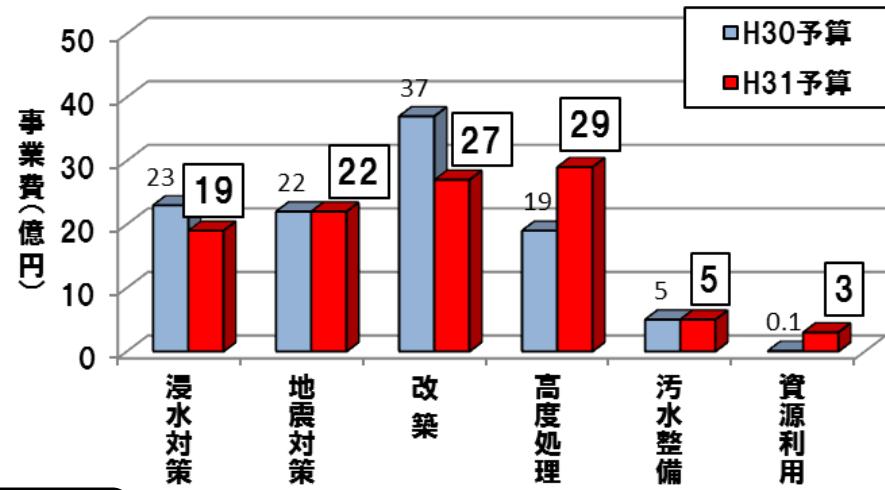
##### ●平成30年度予算との比較(億円)



##### ●平成31年度予算割合(%)



##### ●平成30年度予算との施策別比較(億円)



防災・減災事業が全体の65%（約68億円）

\*高度処理は耐震化・老朽化対策も兼ねており、併せると全体の92%（約97億円）

# 4 平成31年度予算における重点事務事業 (2) 主要事業の予算

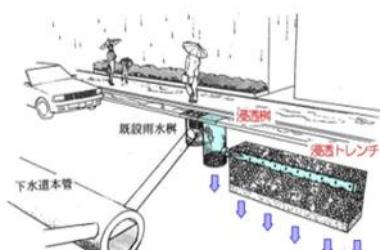
## ◆主要事業

### (1) 浸水被害の軽減と対策の強化 1,959,500千円 H30補正:391,000千円含む (H30:2,283,080千円 前年比:85.8%)

- 局地的な大雨による浸水被害を軽減するため、千葉市雨水対策重点地区整備基本方針に基づき、浸水リスクや都市機能の集積度が高い『重点地区』や、その他の『一般地区』において、地域の状況に応じた雨水管渠などの整備を進めます。
- 市民による防水板設置の費用の一部を引き続き助成します。

#### ① 雨水整備(重点地区) 97m

千葉駅東口再開発事業関連（富士見）



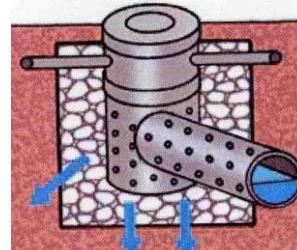
#### ② 雨水整備(一般地区) 2,666m

弁天、汐見丘町 他11地区



#### ③ 浸透施設整備

弥生町、稲毛台町、三角町



#### ④ 助成制度

防水板設置費用の一部を助成



ハード対策に加え、  
ソフト対策も行っています

市では、浸水被害の軽減を図るため、住宅・マンションなどの防水板設置工事に助成金を交付しています。

申請方法など詳しくは、お問い合わせください。市ホームページ、パンフレット（雨水対策課、区役所地域振興課、公民館、土木事務所で配布）をご覧ください。



対象 浸水被害が発生した地域で、防水板の設置を行う方（法人含む）

助成額 費用の2分の1（建物1棟につき上限75万円）

問い合わせ 雨水対策課 (T) 245-5613 (F) 245-5497

## (2) 地震時における下水道機能の確保 2,280,800千円 H30補正:2,076,800千円含む (H30:2,232,490千円 前年比:102.2%)

- 大規模地震発生時における下水道の機能を確保するため、下水道管渠及び処理場の耐震化を進めます。
- マンホールトイレについては、平成29年度からプール水を使用した整備を行い、平成35年度末までに未整備の市立小・中・高等・特別支援学校112箇所への設置完了を目指します。  
(平成28年度までは非常用井戸水を使用し、55箇所に設置完了)

### ① 下水道管渠の耐震化 9.0km

美浜区：幸町、稻毛海岸、磯辺地区

中央区：中央、浜野地区

花見川区：幕張、検見川地区

稲毛区：稻毛、黒砂地区

- ・東日本大震災で被災した美浜区を  
重点的に整備
- ・液状化の危険性が高い地区を実施
- ・緊急輸送路下などの管渠を実施



東日本大震災における被災状況

### ② 処理場・ポンプ場施設の耐震化

南部浄化センター B C系放流渠耐震補強その2

### ③ マンホールトイレの設置 20箇所（100基）



避難所でも安心して  
トイレが使えます



マンホールトイレ

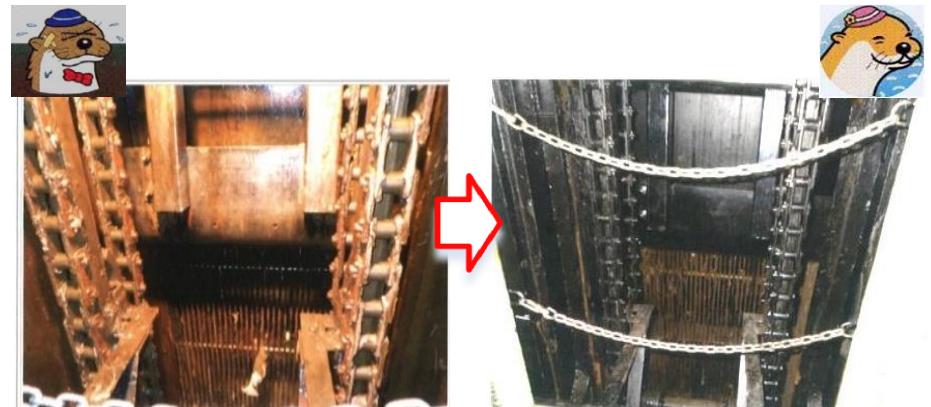
## 4 平成31年度予算における重点事務事業（2）主要事業の予算

**(3) ストックマネジメントの推進 2,782,000千円 H30補正:553,000千円含む(H30:3,664,600千円 前年比:75.9%)**

- 平成28年度、国交省では、改築事業の支援を目的とした長寿命化支援制度を見直し、新たに、点検・調査、修繕・改築までを  
    一體的に捉え、維持管理から改築事業までの支援を目的としたストックマネジメント支援制度が創設されました。
- 今後、下水道施設全体を対象に、点検・調査により施設の状態を監視し、適正に維持管理を行うとともに、老朽化した施設の  
    改築を計画的に進め、より安定的な下水道サービスを提供していきます。

**① 処理場・ポンプ場設備の改築**

中央及び南部浄化センターの機械・電気設備  
都ポンプ場、出洲ポンプ場、大椎ポンプ場、  
村田雨水ポンプ場、長作ポンプ場外の機械・電気設備



(参考事例) 除塵機の改築

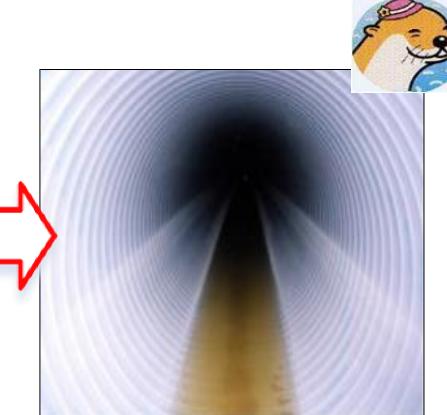
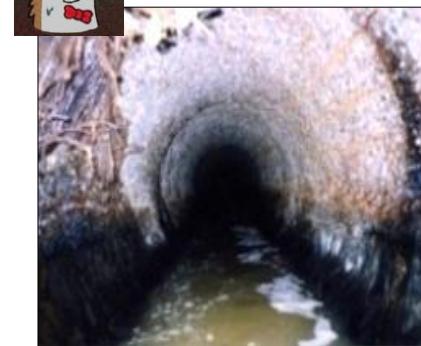
## ② 下水道管渠の改築 13.0km

中央区：道場南、東本町、亀井、中央港地区

若葉区：都賀の台、千城台、大宮台地区



道路陥没状況

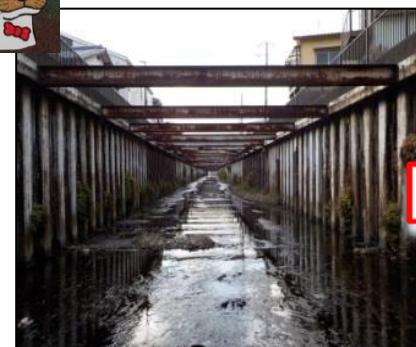


(参考事例) 管渠の改築

## ③ 下水道施設の適正な維持管理

マンホール蓋の更新 1,000個

草野みずのみち（護岸塗装） 150m



(参考事例) 護岸塗装

## 4 平成31年度予算における重点事務事業 (2) 主要事業の予算

**(4) 海辺の水質保全 2,881,000千円 (H30:1,942,000千円 前年比:148.4%)**

- 東京湾の水質保全と、良好な水環境を整えるため、東京湾で発生する赤潮・青潮の発生要因の一つである窒素・リンを除去できる高度処理施設の整備を中心化センターで行います。

**中央浄化センター分配槽建設工事** (平成30～平成31年度継続工事)

**中央浄化センター水処理施設機械・電気設備工事** (平成31～平成32年度継続工事)

**中央浄化センター塩素混和池建設工事** (平成31～平成32年度継続工事)

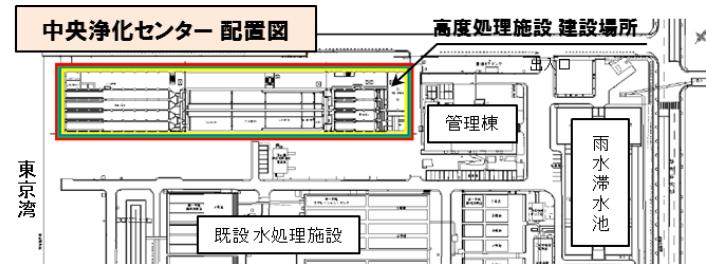
**中央浄化センター水処理施設建築工事**

**中央浄化センター送風機機械設備工事** (平成31～平成32年度継続工事)



赤潮(左)・青潮(右)状況写真

★平成33年度～ 供用開始を目指します。

**(5) 下水道未普及地域の解消 542,990千円 (H30:526,000千円 前年比:103.2%)**

**汚水整備** 9.0ha

蘇我地区 他14地区

**(6) 下水道における資源・エネルギー循環の形成 27,800千円 (H30:9,000千円 前年比:308.9%)**

下水処理過程から発生する汚泥などをエネルギーとして利活用するための検討 他

# Memo



イメージキャラクター  
「カワウソ一家」

左上：アクア（パパ）  
右上：クリーン（ママ）  
中央下：かわちゃん（女の子）